

令和4年度 第2回学校評価（教職員） まとめと見解

八王子市立小宮小学校

校長 安藤 臣一

早春の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。日頃より本校の教育活動に際しましてご理解とご支援を賜り誠にありがとうございます。

さて、令和4年度2月に実施いたしました学校評価（教職員）の内容についてその結果をまとめましたのでご報告いたします。教職員の学校評価については、本結果を各校務分掌担当者が分析し教育活動の改善に生かしております。内容をご一読いただき、ご質問ご意見等ございましたら、お問い合わせくださいますようお願いいたします。

【1】実施時期 令和5年2月15日～2月27日

【2】回答率 教職員数28 回収数28 回答率 100%

【3】各項目結果のまとめ

A…あてはまる B…だいたいあてはまる C…あまりあてはまらない D…あてはまらない E…わからない

No.	評価項目	AB 評価率	1回目との差	CD 評価率
1	本校は、学校・学年・学級の目標や、重点テーマ目標「伝える つなげる ゴースマイル」の実現に向けて取り組んでいる。	100%	—	0%
2	本校は保護者に対して適切に情報を提供している。（学校便り・学年便り・学級便り・ホームページ等）	100%	—	0%
3	本校は、地域の方やお家の人から学ぶ活動「畑での栽培活動、読み聞かせ等」に取り組んでいる。	100%	—	0%
4	分かりやすい授業となるように工夫している。	100%	+7%	0%
5	本校は授業において、説明、板書、発問、視聴覚機器（I C T機器）の活動等の工夫に取り組んでいる。	100%	+3%	0%
6	作品・ノート・新聞・テストの採点等は適切・公平に評価している。	93%	—	0%
7	本校は子供の将来の進路や職業について適切に指導している。	92%	+15%	4%
8	本校の子供たちは落ち着いている。	97%	—	3%
9	本校は子供の生活指導（挨拶・言葉遣い・学校のきまり等の指導）に取り組んでいる。	97%	+7%	3%
10	本校は教室を整理整頓し、子供と一緒に清掃活動に取り組んでいる。	97%	-3%	0%
11	本校はいじめに適切に対応し、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。（子供へのアンケート実施・子供の話を聞き相談にのる保護者・関係機関と連携している）	100%	—	0%
12	本校のご家庭では、早寝・早起き・朝ごはんに努め、挨拶・しつけを定着していただいている。	91%	-2%	3%
13	本校の児童は、家庭学習に取り組み、習慣として身につけている。	78%	+13%	17%

No.	評価項目に対する意見
1	【1（目標）－②】今年度これまで取り組んできた学校・学年・学級の目標や、重点テーマ目標「伝える つなげる ゴースマイル」および重点コンセプト「自立・主体・自主」（KDD）の取り組みについて、ご意見をお書きください。 ●すべての教育活動や場面に共通して意識することができ、子どもたちにとってもわかりやすい目標だと思います。伝えて、つながって、ゴースマイルで、KDDをめざす…個としても、集団としても小宮小学校教育活動の土台となる方針として継続していきたいです。 ●「伝える つなげる ゴースマイル」 授業では国語や社会の学習の中で調べ学習を行い、その成果を全員発表する機会を設けた。活動を通して学習内容の理解や表現力の向上につながったと感じる。また、委員会やクラブ活動などの特別活動でも児童が意欲的に伝え、他学年同士をつなげる姿を多く見ることができた。 ●「自立・主体・自主」（KDD） 普段の学習や生活、行事、宿泊学習など年間を通して児童にKDDを意識させ活動してきた。個人差はあるが計画的に取り組んだり、課題を改善しようとしたりする児童が増えた。” ●「自分の力でやってみよう！」という思いで行動している児童が増えたように感じます。クラブ活動などで責任感を持って頑張っている6年生の姿をみて、頼もしいなと思いました。 ●KDDを合言葉に子どもたちが本当によく頑張ってきた。 金曜日の集会では毎回、子どもたちによる発表がすてきだと思います。 子供が意識しやすく、浸透してきていると感じます。 ●KDDの言葉自体は、児童の中で浸透していると思う。学校全体での取り組むことでこの言葉により自主性など高くなった児童もいればまだ消極的な児童も多くいるので、続けていけば更に深まっていくと思う。 ●KDDはとてもよい取組だと思っています。ただ、教員がどのように関わるかについては、まだまだ、検討していく余地があると思います。今後も引き続き、考えていきたいです。 ●1年経って、力が顕著に表れている。特に朝会発表や行事、委員会で表れている。PCを使った発表が多いが、表れないKDDを取り上げてよりよいかなと感じる。教室でゴミを拾う子。さっとお友達を助けてあげられる子、自主学習の定着した子など。 ●自主自立するまでに至らず、抜本的な指導方法の改革が必要だと考えている。 ●KDDはとても分かりやすい目標になりました。どこまでをKDDでできるのか宿題に対して各学年の目標が出ていましたので、系統性をもってどこの学年の担当になっても指導できるように学校全体で具体的に手立てがあるといいと思います。例えば、KDD学習をするためのワークシートを全体で共有して使用するなど。各学年での取組が明確になると、次の学年に向けての取り組みがしやすくなると思います。 ●児童の自主的な活動が多く見られた一方で、なかなか自分から動くことが難しい児童もいたように感じます。今後も経験を積み重ねていくことが必要だなと感じました。
2	【2（情報公開）－②】本校の今年度の情報提供、情報公開について、ご意見をお願いします。 ●学級便りの内容や発行頻度に偏りがある。これはある程度仕方ないこと…か。 ●情報を発信する側と受け取る側の双方の思いが上手に重なってほしいと願っています。 ●キャリア教育について保護者の認識や理解が低いので、その視点での情報公開をお願いしたいです。また、自身もその視点を意識した情報公開をしていく必要があるなと感じております。

	●c4th を使い、細かく情報提供、公開していると思います。 ●ホームページからの情報配信が充実していると思います。 ●学級通信をもっと多く書きたかった。学校としては学年日より、毎日の HP での情報提供ができています。 ●学校全体、各学年のことが毎日学校ホームページに掲載され、全体の様子がわかるのがとてもいいと思います。学年連絡 (C4 t h) が全世帯既読になっているのか気になります。
3	【3 (地域との連携) ー②】本校の今年度の地域の方やお家の人から学ぶ活動「畑での栽培活動、読み聞かせ等」についてご意見をお願いいたします。 ●いつも非常にお世話になっており、感謝しかない。 ●読み聞かせは最高でした。感謝しかありません。楽しい活動でした。畑も素晴らしいです。見通しをもちにくいのが難点。 ●地域や保護者の皆様からのご協力が有難いです。 ●いつもお世話になっていてありがたいです。 ●いつも大変お世話になっております。栽培活動、読み聞かせなどあり、ありがたいなと思います。読み聞かせは、月曜日の朝読書の時間に保護者の方がいらっしゃって読み聞かせしていただくということも行ってもいいなと感じました。10分ほどなので、1・2冊の読み聞かせにはなると思いますが。 ●今年度も畑での栽培活動をさせていただき地域から学ぶ学習を行った。 ●井上さんに頼り切りでいつも心苦しいですが、子供たちはとても喜んでます。 ●多くの場面で外部講師を招いて学びを充実させられている。 ●井上さんにはいつも感謝です。
4	【4ー⑤】今年度が始まって4か月の学習指導を振り返り、成果と課題等ご意見を入力してください。 ●体育の技能は目に見えて成長していると感じることがあった。 ●この1年合唱や合奏など、どの学年もいろいろなことを経験できたと思う。特に文化祭で音楽を発表した学年は、歌唱や合奏の技能と共に歌うことの楽しさも経験できた。歌唱の技能が学年によって差があるので、2部合唱で味える良さを全学年に味わえるように指導していきたい。 ●視覚教材を取り入れて、指導をすることができた。個別指導も十分に行った。特性のある児童のケアや周囲の子の理解を、学校全体で取り組めるようにもっと発信すると良かった。 ●こみっきいの週1～2時間の指導。時間は少ないですが、確実に成果が上がっていると感じています。一斉指導、個別指導をそれぞれ活用して、一人ひとりにあった指導をしていきたいです。 ●児童1人ひとりの努力や成長について、本人と保護者と担任とで共有していくことができた、今年度の支援教室だった。 ●校内研究では、昨年度より効果的なICTの活用を提供し合うことができた。さらなる大きな課題としては、「書くこと」とどのように絡めていくか。遠い将来的には、書くことよりも入力することと言語化して表現することの方が多くなるが、近い将来の高校受験などでは、まだまだ、書くことの方が表現の場が多いし、重要。小学校の間では、両立していくことが望ましい。その部分は今後も大きな課題になる。 ●9割の児童の家庭学習が身に付いている。子どもたちが自分で考えてKDD学習を行っていくことができるように週予定に記入することができるように3学期～変更しました。 ●保健の学習で1週間のみだが、生活改善チェックシートに取り組んだ。そのようなことを継続することも必要だと感じました。 ●個別支援が必要な児童と全体の学習の定着を図るバランスの難しさを痛感した1年となった。個別支援が必要な児童については、通級の教員にも聞きながら、通常学級でできることを模索していきたいです。

	●課題：児童の主体性を大切にすることで指導の丁寧さを欠いてしまうことがあった。主体性を大切に して児童に任せるのか、きめ細やかに指導するのか、場面によって使い分け効果的な指導ができるよ うに改善していきたい。” ●もっと教材を読み込み、深く考える授業づくりをしていく。個別の課題に十分なアプローチが出来て いなかった。
6	【5（生活指導）－⑤】本校の児童の様子や生活規範等について、今年度これまでの成果 と課題等のご意見を入力してください。 ●挨拶→こちらからすると返す児童は多いが、返せない児童も多いと感じる。 教室に入るときに子供と先生の挨拶は交わされるが子供同士の挨拶が少ない。 それについて指導をしたが効果は一時的で継続しない。 ●専科の授業でもチャイム着席など、できているクラスが多い。教員に対する言葉遣いはよいが、児童 同士の言葉遣いを聞いていてたまに気になることがある。 ●学校全体としては、多くの児童が規律を守り落ち着いて学校生活を送ることができていると思う。指 導や支援の難しい事案も多いが、先生方の奮闘とチームワークの良さで何とか食い止めているように 思う。困難が多くとも、家庭や地域、関係機関との連携をさらに強化していけるよう願っている。 ●子どもたちの様子をよく見守り、寄り添いながら問題解決することに尽力できたと思います。 ●廊下を走る姿が見られるなど、きまりが徹底されているとは言えない。そこは今後も声をかけて指導 を継続していく。 ●いじめについて職員で話し合う機会が必然的に多くなった。ヒヤリハットを蓄積させていくことで、 忘れたがちな情報も共有することができた。 ●いじめについての指導法についても弁護士の方のお話を聞くことができ、勉強になった。 ●KDDを合言葉に「できることから」子供達自身が意識して、行動する姿がみられた。 ●子ども同士で注意し合える様子も見られた。自分たちの生活は自分たちで良くしていこうとする行動 も見られる。（改善会議・クラブ長会議等） ●こつこつ頑張っている児童も多くいることを忘れてはいけない。 ●本校の児童だけではないと思うが、集団としての高まりについては肌で感じるものが少なかったの か、なかなか育っていないように感じる。みんなで一つの目標に向かっていくことは好むが、そのた めに努力することが加わると、先に進まない傾向にある。 ●見ていないところならルールを破っていいという負のイメージが増えてきているように感じる。その 延長線上に友達とのトラブルがある。集会・朝会でわざわざきになるときがある。” ●成果：落ち着き安定している児童が多いと感じる。問題行動に対しても生活指導部の先生方を中心に 素早く対応することができていた。 ●課題：学校のルールやきまりが統一できていなかったり、周知されていなかったりする場面があっ た。課題が多様化し大変だとは思いますが改善していきたい。” ●委員会活動やクラブ活動だけでなく、こちらでもKDDで考えて行動できたらよいなと思います。して もいいか、いけないかを判断するのに「先生が見ているから」「誰も見ていないから」「怒られないか ら」で、考えている様子がうかがわれます。誰が見ている、見ていないにかかわらず、「安全かどう か」「正しいかどうか」など、KDDで考えて適切な行動が取れるようにしていきたいですね。 ●全体としてはとても児童が落ち着いている。問題行為も予防がしっかりできている。たとえトラブル があっても初期に迅速にチームで対応することが出来ており良い。 ●人の話を黙って聞くことができない児童が少数見られるのが気になります。 ●成果としては、規範意識をもつことはできていたと思う。それを、全員が実行することにはまだ課題 がある。また、学級には、朝遅刻勝ちの子供が何人かいて、家庭の協力も必要だと感じるが、本人に 意識を変えさせることが必要だと思う。 ●廊下を元気いっぱい走る姿が見られる…など今後も課題だと思います。”

8	【6（家庭）－③】本校の児童の家庭での生活習慣や家庭学習について、ご意見を入力してください。 ●ご家庭では十分愛情を受けているように思う。何件か配慮を要すると思う。 ●家庭学習を定着させるには、家庭の協力も必要だと思う。 ●提出率については、後半になるごとに上がってきている。保護者の協力が何よりも大事だということを改めて感じた。子供はみていてくれるだけで安心して頑張れるようになることも再度分かった事案があった。 ●高学年からではなかなか簡単にはいい習慣として根付いていかない。漢字ドリル計算ドリルなど家庭で学習する場合に効果的な学習方法が浸透していないように感じる。これまでの学習の仕方をもう一度見直して、家庭学習でも効果ある学習方法を考えてみたい。” ●個人差が大きいです。朝食食べてこないご家庭もあるようです。学習面、生活面にやはり影響があると感じています。 ●家庭での生活習慣については、各家庭の事情があり、なかなかこちらが触れていくことは難しいと感じている。そのためまずは、学校の中で確実にしなければいけない習慣を徹底させていく。各家庭の差というものを感じてしまうが、できる限りはその差がなくなるようにサポートをし、学校生活はみんなが同じように学習、生活を送れる環境を整えていきたいと思います。 ●宿題や忘れ物等、確認していただけるとありがたい。
9	【7（その他）】令和4年度のこれまでの小宮小学校を振り返り、ご意見を入力してください。 ●授業以外の時間におけるパソコンの使用について、クラスによってルールが異なっていることが課題としてあげられる。特に、児童自身がどのサイトにアクセスしているか分からない状態で、ネット上に公開されているゲームを遊んでいるのは危険と思われる。パソコン使用の可否、閲覧・利用が認められるサイト等の徹底を、学校として確認すべきだと思います。 ●チーム小宮として、助け合ってくることができてうれしいです。いつもありがとうございます！！ ●コロナ禍3年目で様々な状況の変化に振り回されがちな学校現場の中で、小宮小のチームワークの良さが光っている。心身の健康を維持することの大切さを日々実感するが、次代を担う子ども達の成長と幸福のため、教職員の皆さんの心身の健康と活躍を心から願っている。 ●KDDを合言葉に指導を継続して行えた。1年間の柱になった。クラス分けは慎重に行った方がよい。 ●一番気がかりだったのが、先生方の心身の健康でした。とても疲れているようにお見受けする方もいらっしました。じっくり体と心を休めて、リフレッシュする時間を確保できないものでしょうか…という気がします。 ●KDD、伝えるつなげるゴースマイルを合言葉に取り組むことができた。 ●タブレットの使い方での生活トラブルが止まないことが現状。職員も共通理解することが大事だと感じる。 ●教職員はお互いに声を掛け合っているように感じる。 ●各ご家庭の協力、先生方の指導のおかげで学校全体落ち着いているように感じる。来年も落ち着いた小宮小学校であるために尽力していきたい。 ●困ったときには相談にのってくれる先生方がいらっしましたのでこの1年間過ごすことができました。また、KDDという取り組みが私の中でとても共感できて、この力が高まったら子供たちが今後とも自力で困難にも立ち向かえるのではないかと思います、KDDを伸ばしたいと思えました。今後もKDDを頑張ってほしいと思いました。（きっと大変なことだとは思いますが…）

- コロナ禍であっても、従来の学習を取り戻せてきていると思う。
- コロナの規制が緩み、活動の幅も広がった一年だったと思います。それでもまだ対策が必要な中で子ども達も工夫しながら学校生活を過ごせていたと思います。”

※自由記述は、抜粋して紹介させていただきました。